

事業の記録

◇令和4年度わくわく体験教室「磁気で発電体験」

8月8日(月)生涯学習センターアトリエにおいて、沢木政信氏と上川教育局教育支援課の佐藤麻友美氏をお迎えし、わくわく体験教室を行いました。

リニアモーターカーの仕組みについてや、磁石と電池を使って反発を作り、発電を行うなど実験が行われました。自分が疑問に思ったことを講師の方に聞き、理解した上で実験を行うなど、成長した姿がみられました。



◇こども芸術鑑賞会「学校鑑賞」

8月23日(火)生涯学習センターふれあいホールにおいて、奥村愛氏と森田愛矢氏をお迎えし、こども芸術鑑賞会「学校鑑賞」を行いました。

公演内容については、楽器の説明のほか、世界地図を使って曲の誕生した国と人物の説明を行っていただきました。

普段の生活で聴く機会がないプロのヴァイオリンの生演奏を間近で聴くことができ、生徒の方々にとってはとても良い経験となったのではないのでしょうか。



図書室だより



▶ 今月のあたらしい本

● 新! 店長がバカすぎて

早見和真/著 角川春樹事務所

宮崎の山奥に異動になっていた山本猛元店長が、三年ぶりに、吉祥寺本店に店長として復帰した。張り切る店長だが、相変わらず、人を苛立たせる天才だ。

そんな中、本や書店を取り巻く環境はますます厳しくなってきたが、それでも京子は、新人作家の才能に出逢い、打ちのめされ、好きな作家の新作に心躍らせ、時には泣き、笑い、怒り、日々戦う。

スタッフの磯田さんや、覆面作家だった大西先生や神楽坂で小料理屋を営む親父さんや、優しき先輩たちに、応援を受けながら。

小説と書店の未来を、仕事の

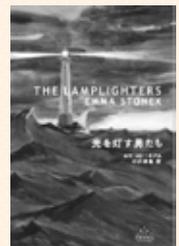


意味を、生きる希望を改めて深く問い直す、第二弾。

● 光を灯す男たち

エマ・ストーンクス/著 小川高義/訳 新潮社

絶海の灯台から3人の男たちが消えた! 実際の事件を元にした傑作文芸ミステリ。1972年末、英国コーンウォールの灯台から3人の灯台守が忽然と姿を消した。灯台は内側から施錠、食事も手付かずのままであった。8週間の任務、狭いベッド、夫婦の距離…。孤絶したコミュニティの中で、灯台守とその妻たちに何が起きていたのか? 誰もが光として抱えてきた思いが、20年前の未解決事件の謎を解き明かす。



・越境刑事

中山七里/著 PHP研究所

・レッドゾーン

夏川草介/著 小学館

生涯学習カレンダー

11月	11月3日	生涯学習フェスティバル「一般芸能発表会」	生涯学習センター
	11月5日	生涯学習講座「陶芸教室」	生涯学習センター
	11月12日	若人会 世代間交流体験事業	生涯学習センター
	11月18日	芸術鑑賞会「張海輪のアクロバットパフォーマンスショー」	生涯学習センター